"三月の園芸センターだより"

ひと雨ごとに気温も上がり、ポカポカ陽気に誘われて、戸外の散策を楽しむ日も多くなってきます。

いままで室内では楽しめなかった緑や花が再び活動を始めます。早咲き球根のクロッカス、スイセン、カタクリ、ユキワリソウなどがかれんな花をみせてくれます。

木々の中ではモミジ、ナナカマドなど早いものは芽が動き始めます。落葉樹は葉のない時期が移植の適期ですが、新潟は冬が厳しいため、秋よりもこの三月ころが最も良い時期となります。また冬囲いも落葉樹は早めにはずしてやりましょう。

センターでは、三月十二日から十四日に「ランとオモト展」（新潟市蘭万会会員の作品、約百点）を、三月二十一日から二十二日に「早春の山野草展」（新潟山草会会員の作品、約百五十点）を開きます。

また各種の講習会、庭作り相談会なども開催いたしますので、どうぞご利用下さい。園芸センターは信越線石山駅のすぐわきに位置していますので、汽車ですと便が良いかと思います。

家庭園芸　ご相談は 園芸センター（☎86—1034）へ。月曜日は休園です。（月曜が祝日のときは火曜日休園）

公共下水道計画
姥ケ山排水区が追加に

第四十四回新潟市都市計画審議会（佐野藤三郎会長）が二月十九日に開かれ、中部処理区（第二号公共下水道）に姥ケ山地区を追加する新潟都市計画下水道の変更案など四議案を決定しました。

下水道変更案は、姥ケ山地区が近年急速に市街化が進んでいることと、鳥屋野潟の水質汚濁を防ぐために、姥ケ山排水区を新たに追加し、同地区の二百三十六㌶を下水道計画の中に編入するものです。

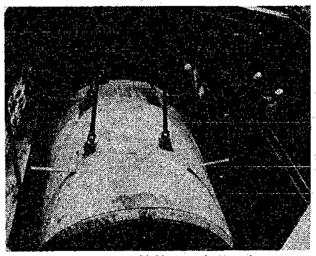
中部処理区は、白山・関屋・万代・下所島・鳥屋野・坂井輪・浦山の七排水区が四十四年までに都市計画決定されており、姥ケ山排水区は十三年振りの追加となりました。白山など七排水区は工事も始まり、一部では下水処理を開始しています。

姥ケ山排水区については、さしあたって下水道整備が完成している京王団地、住宅公団アパート、高志高校の地区について正式の手続きを経た上、処理を開始していきます。

お金のかかる下水道整備

新潟市の下水道全体計画は、市全域を船見（県庁より下一帯）、中部（船見処理区を除く内野までの西新潟および栗ノ木川、鳥屋野潟、信濃川で囲まれた東新潟）、東部（栗ノ木川と阿賀野川に挟まれた石山以北の区域）、北部（阿賀野川以東、東工業港周辺までの区域）の四処理区に大別しています。

四処理区のうち、船見処理区は、すでに全面稼動しており、中部、東部処理区も一部処理を開始しています。



網川原一号幹線の下水道工事

下水道の整備は、市の最重点施策の一つとして、毎年多額の資金を投入してきていますが、幹線管きょ一㍍造るのに百万円以上かかるなど、その整備には巨額な資金を必要としています。市の下水道普及率は、五十六年度末で約二二%に達する見込みですが、下水道計画全体が完成するには、今後二千億円以上（五十六年度ベースで）もの資金が必要とされています。新年度の公共下水道整備予算額（案）が六十一億四千万円ですので、単純に見積っても三十二年余りの長い年月がかかるわけです。

市長随想
読書のこと

私には二つ、三つの趣味、と呼んでいいのかどうかわからないが、とにかくそんなものがある。もちろん満足なものはないが、これからも続けていきたいと思うもののひとつは本を読むことである。毎日、時間の長短はあるけれども活字を拾っている。本屋に行けば、いまはすぐ読めないがいずれは読みたいなと思う本があると買ってしまうから、"ツンドク本"が大分たまってしまって、いつも追いかけられている気分になる。

種類はまことに雑多で、しかしここ数年はエッセイの類が比較的多い。肩がこらないからである。しかしそのような文章でも注意深く読んでいると、そこに作者のするどい眼を感じ、字面だけを追って量を増やしているのは本物ではないなと、その時は思う。

二月某日ある新聞の青少年読書感想文コンクール総理大臣賞になった中学二年女子生徒の「賢治の世界」を読んで、頭をぶん殴られる思いがし、そして教えられた。私も大好きな宮沢賢治に、彼女は小学校二年のときに出合い、そのときどきの感想を読書ノートに記して来て、作品を通して賢治の人間に迫ろうとする熱気がこの感想文に溢れていて、そして「当分賢治の世界からぬけ出せない私だ」と結んでいる。

いまはまだ断片的にしか読めなくとも、いずれは少しでも賢治の作品を、そしてその人間を知りたいと考え、全集はもちろんいろいろの人の作品や資料（その中には新大のS先生の著書もある）を集めて、そのときの準備をしている私に、彼女は何をモタモタしているのかと叱っているようだ。悔いを残さないためにも、いずれはなど言っていないでいまからはじめなければならないようである。

新潟市長　川上喜八郎

道路が泣いています
—スパイクタイヤから普通タイヤに交換を—

雪の季節もそろそろ終わり、暖かな春がもうすぐやってきます。

この時季になると、市内の道路はきまって砂ぼこりが舞い始めます。砂ぼこりは、スパイクタイヤの鋭い鋲（びょう）がアスファルトに食い込み路面を削り取っているものも多いといわれています。

スパイクタイヤの着装は、①燃料消費が大きい②騒音が激しい③ホコリ公害の原因となる——といった弊害が出ており、全面使用禁止や期間制限をしている国もあります。

もうすぐ春です。スパイクタイヤは普通タイヤに交換しましょう。

市民のみなさんのご協力をお願いします。

市・県民税、所得税 申告は3/15までに

市・県民税の申告、所得税の確定申告はお済みですか。申告期限は三月十五日までです。まだ済んでいない方は、早めに申告を済ませましょう。

なお、確定申告をしなければならない方が申告をしなかったり、誤った申告をすると追加の税金を納めるだけでなく、加算税などの余分なものを納めなければならないことになります。所得税の特別減税（一人五百円）がありますので記載をお忘れなく。

昭和57年度 新潟高校通信制 生徒募集

応募資格　中学校卒業またはこれと同等以上の資格を有する人（年齢問わず）
募集コース　①卒業コース…高校卒業資格取得を目的とし、第一学年から入学する人②編入コース…高校中退者で編入学を希望する人③科目別コース…卒業を目的とせず、一部科目のみの履習を希望する人
選抜方法　書類選考
願書受け付け　四月十日までに、県立新潟高校通信制（〒951 関屋下川原町二—一六三五、☎66—五二六八）へ

なの広場
春になったら飛んでみよう
中村　恵美子（43歳・天野）

今年は雪のない年かなと思っていたけれど、やはり大寒を迎えてから寒さも厳しくなり、雪もだいぶ積った。狭い庭を眺めれば、雪を避けたわずかな土の中から、もう大きく膨らんだ球根の芽が鮮やかに光って見える。

立春も過ぎた。春になると陽気とは裏腹に私の気持ちは複雑になってくる。

毎日、新聞の求人欄とにらみ合っているが、なかなか適当な所も見当らない。毎年のこと、なんとか仕事を探そうとあせるのであるが、なんの取りえもなく、特技もなく、経験さえもない四十半ばではとても無理なようである。

いつまで続くのか、連日、不況と倒産のニュースばかりで、引込み思案が先走って当たって砕ける勇気もない。

去年、一部増築して、やれやれと思う間もなく、永年勤めた夫の会社が閉鎖。新しい職場に移ったが、小さな工場でいつ危険がくるか、不安も多い。

この冬は精いっぱい家計のやりくりに努めよう。衣類はなるべく間に合わせ、家族全員が倹約。でも体は大事であるから食べ物に高いなどと言ってもいられない。気も使っているので今のところだれ一人風邪をひかないのが幸いである。

娘もあと一年の学生生活、悔いのない様に送らせてやりたい。私の方も、望みは小さいけれど、気楽に働けるところがあったらいいなあと思っている。

家庭でできる 3分間体操 ⑲
夕方に行う体操

〈商店新入社員講習会〉優れた販売員になるために

日時　3月29・30日午前9時半～午後4時（2日間講習）
会場　新潟商工会議所（上大川前通7）
対象　商店に入社した販売員100人
内容　商業についての基礎知識、接客販売の実務、自己啓発のガイド、包装技術の実習など
参加費　1,000円（テキスト・教材費）
申し込み　3月20日までに、参加費を添え直接市商業観光課（西堀通6、白鳥ビル内、☎28—1000）または新潟商工会議所相談課（上大川前7、☎23—6271）へ

良い子の日曜映写会 龍の子太郎（75分カラー）

日時　3月7日午後2時～
会場　有明児童センター（☎67—7311）
入場料　無料

〈中地区公民館〉講座案内

会場　中地区公民館（古川町4～12）
定員　各コース20人（先着順）
申し込み　中地区公民館（☎71—0017）へ

コース名	日　時	経費・講師	持参品	締め切り
親子手芸教室（紙粘土人形作り）	3月13・20日 午後2時～4時	材料費 1,500円程度 塚田久美子	小さめのビンパレット，筆 下敷、水入れ オシボリ エプロン	3/12
茶道教室（裏千家）	3月17日～ 毎週水曜日 午前10時～正午	運営費 月1,000円 坂上宗喜（裏千家教授）		3/16
主婦の手芸教室（小物人形作り）	3月17日～ 毎週水曜日 午後1時半～4時	運営費 月1,000円 材料費 1回300円 小林ヒデ	はさみ 白糸 針	3/16

園芸センターへどうぞ

◉ラン・オモト展示会
日時　3月12日～14日午前9時～午後4時半（3日間）
会場　市園芸センター研修室
内容　新潟市蘭万会会員の作品約100点
◉ラン・オモト講習会
日時　3月14日午後1時15分～3時15分
会場　市園芸センター研修室
テーマ　ランとオモトの育て方
講師　畑山喜代治、金井良雄（市蘭万会会員）
定員　50人（先着順）
申し込み　今日から電話で市園芸センター講習会係（☎86—1034）へ

婦人のための経済講演会「今年の経済動向」

日時　3月9日午前10時～11時半
会場　中地区公民館（古川町4—12）
講師　長沼甲子男（新潟日報論説委員長）
申し込み　電話（☎71—0017）で、中地区公民館へ。当日直接来場も可能です

3月のボランティアビューロー案内

問い合わせ　市ボランティアビューロー（八千代1、☎43—4370）へ
◉ボランティア相談…気軽にご相談を
日時　日曜、祝日を除く毎日午前9時～午後4時
◉木曜サロン…働いている方や若い人の学習会や情報交換をしています
日時　毎週木曜日午後6時半～8時半
◉ジュニアサロン…中・高校生向け
日時　毎週土曜日午後1時半～3時半
◉手作りを楽しむ集い…軍手人形作り
日時　毎週火・木曜日午前10時～午後2時

「ともに生きる（身障者に正しい理解を）」をご希望の方は、ボランティアビューロー、または有明福祉会館（☎31—0204）でお求め下さい。